

□議員名：河野朋子

1 職員のモチベーションについて

論点	職員提案制度が年々減って来て、ここ2年はゼロだが職員のモチベーションが下がっているのではないか。
回答	職員の積極的な提案を待っているところであり、市長としてはモチベーションが下がっているという自覚はない。しかし、職員数の削減や給与カットなどでモチベーションが下がっているのかもしれない。現状を自覚して頑張っていきたい。

論点	モチベーションアップに人事異動の自己申告制がある。本市でも取り入れていると聞いているが、希望がかなえられている割合は。
回答	282人提出中、異動を希望しない職員が102人で、その希望がかなったのが90.2%、異動を希望する職員が53人いたが、希望がかなったのが49.1%。希望先については、そのとおりにいったというのはほとんどいない。

論点	武雄市では「顔の見える市役所」を目指し広報紙やFMなど、職員の名前や顔を出して情報発信しているが、本市も取り入れてみては。
回答	FMサンサンきららへの出演等は可能と思われるので、研修の一環として、また実務上のことも含めて検討を行いたい。

論点	対話の日での発言や新病院建設時の収支計画の「ポケットのメモ」など、市長の組織についての考え方に疑問を感じるが、どうか。
回答	会社と市役所は組織が違う。極端なことを言えば、市役所は市長一人いればいい。それにたくさんの補助者を置いている。だから、市民が担当者に言っても遅いなら、市長に直接言ってきてほしいという理屈になる。

2 給食センター建設について

論点	パブリックコメント実施から5カ月たって、ようやく広報に回答が遅れている旨の文章を掲載しているが、対応が遅いのではないか。
回答	言われるとおりで、もっと早い時期に市民に広報すべきだった。もう少し早く積算できると思っていたが、予想以上に時間がかかっている。おわびしたい。

論点	教育長の答弁から「教育委員会会議の前後でしっかりと自由討議をしている」とあったが、議事録のない所で議論しているとは”開かれた行政”と言えるのか。
回答	指摘の通りである。市長としてもきょうの指摘を受けて、教育委員会会議の持ち方、公開の仕方等について、しっかりと内部で協議し、反省してほしいと思う。

論点	現在は1か所、2か所センター、親子方式の積算をしているが、さらに自校式で民間委託した場合の詳細なコスト計算もするのか。
回答	現在、財政課と教育委員会が協議しながら1センター、2センター、親子方式の詳細な試算をしている。今後20年間の給食提供の経費について、民間委託する場合には部分的な委託などの想定も含めて積算していく。そのため大変時間がかかる。

論点	その詳細な試算については、市民に公開してもらえるのか。
回答	公開はする。多少時間はかかっても資料を十分集め、慎重な検討をし、議会でも時間をかけてもらい、しっかりとみんなで協議していきたい。